

おっぱい
今日は乳房を大きく
して欲しい"なんてね。

スキル
黄金律をこんなに
淫らなお願いの為に
使ったのは初めてだ

あ...興奮しているね？
ふふっ可愛い顔してても
やっぱり男の子だなあ

構わないよ、好きなだけ
見て触れて...キミの思う
ままに楽しむと良いさ

たぷ...
♡

ま...
♡

ん...
♡

ん...
♡



おまんこ
どうせなら女性器も
キミ専用調整して
あげたかったのに…♡

おちんぼ
そっちは自分の男性器で
じっくり開発したいから
そのまま、なんてね…♡

ふざけ♡
無害そうな人懐っこい顔を
してても、君もしっかりと
“雄”だというわけだ♡

いいとも、キミの形、動き…♡
今日もたっぷり刻みこんで、
“調整”してくれたまえ…♡

ん♡
ん♡
ん♡

ん♡
ん♡
ん♡

お♡
お♡
お♡

いつもより、硬ったあ…っ
それに、長さも、太さ、も…っ
そ、想定以上に、すごお…ッ

全く、人体とは本当に
不思議な、ものだね…ッ
乳房ひとつでこんなに…っ

それとも、これはキミだけの
特殊な体質、なのかな…ッ?



ぬっ
ぬっ
ぬっ

ぬっ
ぬっ
ぬっ

ほっ
ほっ
ほっ

ほっ
ほっ
ほっ

ほっ
ほっ
ほっ

ほっ
ほっ
ほっ

ほっ
ほっ
ほっ

ほっ
ほっ
ほっ

あーっ♡♡♡
キミが、動くのかい？
ふふっ、見てる見てるっ♡

自分のリズムで突き上げて
たふたふ弾むキミ好みの乳房…♡
それに興奮するんだらうっ？♡

私にはわかるとも…っ♡
キミとは何度も何度も身体を
重ねて来たんだから…っ♡

ほらほら、もっと興奮したまえ♡
私だけが知るキミのその表情っ♡
もっと、見せて欲しい…っ♡

ん…っ♡

たふたふ♡

ぷるん♡

あーっ♡♡♡

あーっ♡♡♡



そ、そんなに大きな声を
出したら部屋の外にまで
聞こえちゃうだって…っ？

何を、今更…っ
毎日、毎晩…、何度も
一番奥に注ぎ込んで…ッ

私に無理やり淫らな声を
上げさせているのは誰だと思
っているのかなあ…っ？



それに、いいじゃないか、
聞かせて、やれば…っ♡

キミは人気者だからね…っ♡
私が誰のものなのか…♡
キミが、誰のものなのか…っ♡

キミを狙うライバル達に
たっぷりと主張させて
貰うと、するさ…っ♡

ふふ…っ私は自分が
思っているよりもずっと
独占欲が強いらしいっ♡

きゅん♡

きゅん♡

きゅん♡

きゅん♡

きゅん♡



動き、早くなったね…っ
射精そう、かいっ？

いいともっ、いいとも…っ！
キミの熱い「調整」…子宮で、
受け止めようじゃないか…ッ

限界まで煮詰まった
キミの精液で最後の
仕上げをすると良いッ

わっ私の身体っ、完全に
キミ専用に創り変える
射精ッしてくれたまえッ

だ、射精して…ッ

なかだし、して…っ
キミの、精液…ッ！





すっ、ごおい…ッ！
射精、なっ…があ…ッ

キ、キミのエッチな魔力が
たっぷり詰まった精液…ッ
塗り、つけられて…ッ！

わッ私の、おまんこ…ッ
知らない調整されてる…ッ
知らない形に、なってる…ッ

あー

あー

はー

はー

んん

ぎゅー！

ぎゅー！

ぎゅー！

んん



ふふ、今日はまたすごい量だ
“調整”にしては過剰だけど、
キミが満足ならなによりさ♡

“本気で孕ませるつもり
だったからね”って…。

はは、サーヴァントが妊娠
することがないのはキミも
知っているだろう？

ふふふ♡♡♡

ただ…そうだね、素敵な
奇跡でも起きてそうなれば
いいなと思う自分もいるよ。

ぬ♡♡♡♡♡



…で、本当にそんな奇跡を
起こすのがキミだったよね。
まさかのまさかだよ。

不思議な気持ちだ
キミはいつも私を
驚かせてくれるね。

ああ…私も…
愛しているとも

きゅん

は

きゅん

ぽん

きゅん

きゅん

ぽん





















